

第1回 横浜市障害者研修保養センター指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和2年3月5日(木) 13時30分～15時30分
開催場所	横浜市庁舎5階 関係機関執務室
出席者	石渡委員、霜鳥委員、高橋委員、坂田委員、鷹野委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者1人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員会の趣旨について</li> <li>2 委員長及び職務代理者の選出について</li> <li>3 会議の公開について</li> <li>4 「業務の基準(案)」及び「評価基準(案)」について</li> <li>5 今後のスケジュールについて</li> <li>6 その他</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員長に石渡委員、職務代理者に高橋委員を選任した。</li> <li>2 「評価基準一覧(案)」について一部事務局案を修正し、確定した。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>委員会の趣旨について</b> 事務局から委員会の趣旨について説明。(特に意見なし)</li> <li>2 <b>委員長及び職務代理者の選出について</b> 委員の互選により石渡委員を委員長に、石渡委員長の指名により高橋委員を職務代理者に決定。</li> <li>3 <b>会議の公開について</b> 事務局から会議の公開及び会議録等の公表について説明。評価項目以降の議題については非公開を決定。</li> <li>4 <b>評価項目について</b> 事務局から案を説明後審議し、一部事務局案を修正し、確定した。</li> </ol> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>委 員：利用率稼働率の65%25%等の基準は何か根拠があるのか。 事務局：前回の業務の基準からの数字であり、明確な根拠はない。開所から10年間はすべての数字を超えていたため、この数字を引き続き目標値として設定していきたい。</p> <p>委 員：休憩は一般的な宿泊施設では見受けられない。他の自治体の障害者保養施設にもあるものなのか。また、休憩という呼び方も一般的ではない。 事務局：条例上「宿泊」「休憩」の利用方法が定められており、それに従っている。パンフレット等には「日帰り」といった表現とすることも検討していく。</p> <p>委 員：休憩という運営形態がある事業者の効率的な施設運営の妨げになっているということはないか。 事務局：割合固定のお客様がおり、一定のニーズがある。入浴のみの方や、入浴と食事をして帰る方がいる。</p> <p>委 員：守る会連盟で使用する際に休憩の利用は多くはないが、遠方から来て早く着いた方がチェックイン前にお風呂に入ったり、チェックアウト後に遅く出発したいという方が休憩として利用している</p> <p>委 員：かつては障害者保養施設はほかの自治体にもたくさんあったが、現在はかなり少なくなっている。どれくらいの数があるのか。</p>

	<p>事務局：全国でもあゆみ荘を含めて4施設である。(埼玉、兵庫、愛媛、あゆみ荘)</p> <p>委員：年末年始、グループホームから自宅に帰る方が、あゆみ荘を使えればという声をよく聞く。年末年始の営業をしてもらえないかとお願いしたところ、条例で休みとされているのでできないといわれていた。</p> <p>事務局：市長が認めた場合は条例で定めた休みの日でも開館することは可能。指定管理者からも相談されていたことあり。条例を変えなくても開館は可能。一方で、余熱利用施設なので、年末年始は都筑工場が停止していると運営ができない可能性がある。都筑工場の停止期間にあゆみ荘の稼働ができるのか確認する必要がある。</p> <p>委員：災害時のあゆみ荘の役割は他都市応援職員の宿泊施設となっているが、障害のある方が安心できる場所として開放してほしい。</p> <p>事務局：災害時は施設独自判断でなく、市として施設の役割を定めている。宿泊利用者の安全は最優先で確保し、福祉避難所等に案内する。他都市応援職員の受け入れは市の全体計画の一部として定められている。施設が独自に判断するのではなく、災害対策本部の判断で受け入れ施設となる。</p> <p>委員：一般の利用者の方はどういう目的で宿泊するのか。</p> <p>事務局：普通の宿泊としてビジネスホテルのように泊まっている。</p> <p>委員：素泊まりでサッカー観戦に来る人もいる。</p> <p>委員：健常者の利用は健常者の利用料金を上げてから減っているということか。</p> <p>事務局：一般の方の利用が多く、障害のある方が利用したいときに利用できなかったため、一般の料金を上げたという経緯がある。健常者の利用が減っている一方で、障害者の利用は増加傾向にある。</p> <p>委員：「防災への取り組み」の評価点が5×1点となっているが、昨今の状況をふまえ、例えば5×2点とするのはどうか。</p> <p>事務局：昨今の状況を踏まえ、配点の比重を事務局での上、委員長と協議・決定させていただく。</p>
議 事	<p><b>5 今後のスケジュールについて</b></p> <p>事務局から今後のスケジュールについて説明。</p>
資 料 ・ 特記事項	<p><b>1 配布資料</b></p> <p>(1) 横浜市障害者研修保養センター指定管理者選定評価委員会運営要綱</p> <p>(2) 横浜市障害者研修保養センター指定管理者選定評価委員会委員名簿</p> <p>(3) 第4期横浜市障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」公募要項(案)</p> <p>(4) 第4期横浜市障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」業務の基準(案)</p> <p>(5) 横浜市障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」指定管理者評価基準一覧</p> <p>(6) 横浜市障害者研修保養センター「横浜あゆみ荘」指定管理者の応募関係書類(様式集)</p> <p>(7) 今後のスケジュール(参考)</p> <p>(8) 関係の要綱及び指針等の抜粋</p> <p><b>2 特記事項</b></p> <p>特になし</p>